

フォロワーシップ研修

～上司の補佐役として、前のめりなサポート役を目指す～

対象者：一般職員～中堅職員

1. 研修の目的

上司の指示に従うだけでなく、その意図するところを把握して、自発的に調べたり、発展的意見までを提案できるような、「前のめり」なサポート力を身につける。

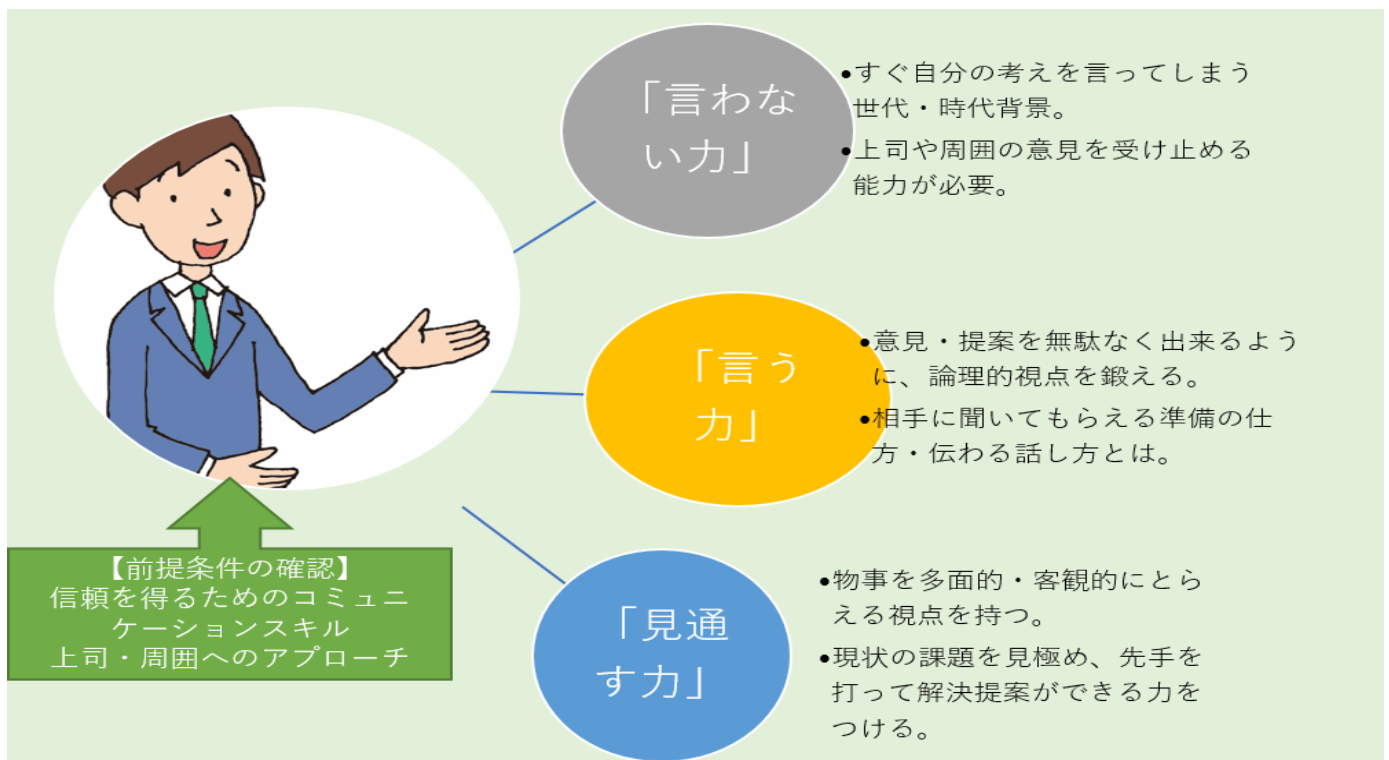
現在の自治体において、管理・監督者はプレイングマネージャーの傾向が強く、その状況において部下には、指示に従って成果を上げるだけでなく、自発的に意見を述べたり、管理・監督者の誤りを修正できるような能力までが期待されています。

従来の上位下達型ではなく、上司・部下が共にサポートし合う「相互啓発型」組織にしていくため、部下に必要な観点を身につけます。

2. 研修の特徴

フォロワーシップを高めるために必要な力を大きく3つに絞り、様々なワーク形式を取り入れながら、講義を進めます。

【部下（サポート役・一般職員）に必要な3つの力▼】



「指示待ち人間」「返事だけよい」「言われたことしかできない」と言われたいために、上司や周囲を驚かすほどの高い部下力（サポート能力）を身につけましょう。

3. 研修内容

	内 容
9:00	<p>1. フォロワーシップとは何か? 【講義・個人ワーク】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) よい部下とは何かを考えてみよう 2) 自治体における「部下」に期待されるパフォーマンスとは? 3) フォロワーシップとリーダーシップ <p>2. 部下に必要な「3つの力」と「前提条件」 【講義・グループワーク】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ①「言わない力」②「言う力」③「見通す力」～あなたに足りないものは?～ 2) 前提条件をクリアする 【グループワーク・2人1組ワーク】 Work1: 価値観のピラミッドに挑戦 Work2: ミラーリングとペーシングで相手に好意をもってもらう <p>3. 「言わない力」を鍛える ～ぐっとこらえる、じっと聞く～ 【講義・ペアワーク】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 新たな時代には「言わない力」が必要 2) まずじっくり「聴く」力をつける Work3: 傾聴術の基本 相手の悩みの相談に乗ってみよう 3) 聴いたあとに、すべき3つのこと 【2人1組ワーク】
12:00	<p>Work4: 相手のオーダーの真意を受け取る。～書き取り、考え、まとめてみよう～</p>
13:00	<p>4. 「言う力」を鍛える① ～しっかり伝える、すっきり伝える～ 【講義・ペアワーク】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) -1意見・提案する力を鍛える(定番メソッド) <ol style="list-style-type: none"> ① 的がいくつあるか伝える ② 時間を設定する ③ 根拠(資料・データ)の準備をしておく ④ 結論はキャッチフレーズに変換 ⑤ クッション言葉はキラーフレーズ 1) -2意見・提案する力を鍛える(アサーション) Work5: 感情が動いた部分を「示して」「表現」してみよう 2) おでんモデルで伝える ～話の筋道がわかる組み立て方とは～ Work6: 普段の会話から論理性を高める。 「おでんモデル」を使って会話してみよう <p>5. 「言う力」を鍛える② ～さらに無駄なく伝える、提案する～ 【講義・ペアワーク】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 三角ロジックで、積み重ねて考えてみる ～So What? Why So?～ 2) 伝える技術PREP法で伝える Work7: 論理的に「考え」「聴く」⇒「判断し」「伝える」ために ～自分の企画案をPREP法で提案してみよう～ 3) イエスバット方式よりスマートなワンフレーズ <p>6. 「見通す力」を鍛える ～俯瞰してみて、ギャップを埋める～ 【講義・ペアワーク】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 上司とは常に目的を共有しよう 2) 「QCストーリー」で職場の現状を眺めるクセをつける 3) これからの職場を、よりよく改良していくのはあなた 4) 相互啓発型組織づくり Work8: 「見ている」から「視ている」自分へ QCストーリーを使って、職場を見直してみよう! 「環境(行程)改善提案書を作ってみる」
16:30	<p>7. 本日のまとめ 【講義】</p>